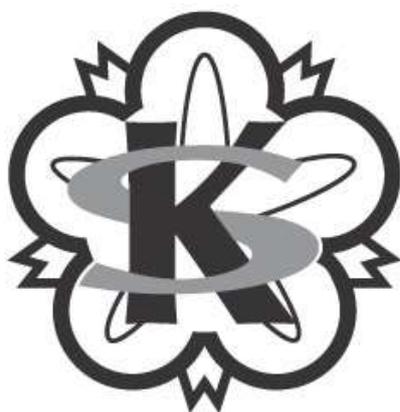


第3学年 小石川フィロソフィーⅢ

令和2年度 講座概要集



3年	組	番	氏名	
----	---	---	----	--

番号	講座名	担当教員	人数
1	近代文学研究『私の個人主義』（夏目漱石研究）		13人
内容（目標、進め方など）			
<p>文豪夏目漱石は「いかに生きるか」を自らに追求した人物であった。漱石が亡くなる2年前（大正3年）に学習院大学で講演した内容、「私の個人主義」から「エゴイズム」とは何であるか、そこからの脱却、「真の自由」とは何であるかを考察していく。自分らしく生きるとはどういうことを考え、自らの生き方へと導き出す講座である。</p> <p>15歳という年齢で一度自らのこれまでを振り返り、これからの長い人生で社会に出て自己実現していくための方法論を考察していくものである。</p>			
受講希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分」ときちんと向き合う姿勢を持つこと。 ・哲学的なものの捉え方を柔軟に受け入れること。 ・批判的精神を持つこと。 ・12月末にレポートの提出必須。 ・漱石『私の個人主義』は必ず購入し、毎時間必ず持参すること。（文庫本でよい） ・積極的に漱石の小説を読むこと。テーマ以外の漱石作品については図書館などを利用して読むこと。 <p>（必ずしも購入しなくてもよい）</p>			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
国語辞典、筆記用具			
費用（見込み）			
書籍購入費 夏目漱石『私の個人主義』¥713,-			

番号	講座名	担当教員	人数
2	メディアリテラシー		13人
内容（目標、進め方など）			
<p>大手メディアの情報とネットの情報。どのような「情報」であれ、そこには発信する側と受信する側のバイアスがかかっている。溢れる情報を、映像や音楽、動的コンテンツなどのマルチメディアは、どのように表現し我々に発信しているのだろうか。メディアを通して発信される情報を、我々はどのように吟味し、評価していく必要があるのか、を考えていきたい。</p> <p>前半は、リップマン『世論』・サイード『イスラム報道』・山本七平『「空気」の研究』などを読み、バイアスがどのように形成されていくかを、紐解いていく。後半は、研究テーマを決め、取り組み、論文を作成する。</p>			
受講希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
<p>「話す・聞く」「読む」「書く」という行為のほかに、「みる（見・観・視）」ということ意識し、メディアを分析していく。「みること」に興味を持てる生徒、また、「話す・聞く」「読む」「書く」「みる（見・観・視）」という力を身につけたい生徒を求む。</p>			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
筆記用具			
費用（見込み）			
書籍購入費など			

番号	講座名	担当教員	人数
3	三大宗教とその周辺		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
最初に、キリスト教、イスラム教、仏教および日本の宗教の概要について講義を行う。宗教についての概観を学習し基礎知識を得た上で、各自の関心に応じた調査・研究を行う。全体での報告会以外にも、講座内で途中経過の報告・質疑応答を行う。学年末には、発表のもととなる簡単なレポートを作成する。			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
宗教についての予備知識は必要無いが、比較的難しい資料を読むことになるので、調査と挑戦が好きでなければ困る。 宗教の概要についての講義が短くなる可能性があるため、今から自分で簡単な本を読んで、おおよそのイメージを作っておくこと。 授業再開後、比較的早い時期に調査・研究の構想発表をしてもらうことになるので、何を調べるかについて考えておくこと。			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
特に無し			
費用 (見込み)			
特に無し			

番号	講座名	担当教員	人数
4	国際化がすすむ日本社会を考える		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
近年、日本社会においていろいろな意味で国際化がすすみつつある。しかし、そういう社会を学校の中で学び、考える場が少ないのが現実である。本講座では、国際教育の理解を深めるという本校の教育理念を深めるためにこのテーマとかかわる人を講師として招いたり、国際化を理解するために施設等を訪れたりしてテーマについて調べ、考えて、まとめて発表してもらう。			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
現在の国際化がすすみつつある日本社会を真剣に考えている生徒の受講を希望する。			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
3年の時に購入した副教材「最新世界史図説 タペストリー」を持参すること。			
費用 (見込み)			
イスラム教モスクやJICA 地球ひろばなどに行く際にかかる交通費			

番号	講座名	担当教員	人数
5	数学研究		26人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>数学の興味, 関心は人それぞれで、統計, 解析, 代数, 幾何, 折り紙, パズルなど魅力をもつ様々な側面があります。研究は個人でもグループでも構いませんが、研究テーマを設定して論文および要旨の作成、校内外でのポスター発表によるプレゼンテーションの実施など、研究について必要なことを一通り経験します。なお、この講座では、調べ学習レベルの研究内容は認めません。</p> <p>学期は、研究したいテーマを決め、その研究を各自で進めて夏休み中に論文を作成し、全員がその研究論文を9月の1週目に、「算数・数学の自由研究」作品コンクール(MATHコン)に応募する予定です。また、テーマを設定するにあたって専門の先生の話を知りたい場合や、研究に関係しそうな分野など、外部講師をお招きし、サイエンスカフェという形で講演をお願いすることもできます。</p> <p>2学期は、1学期に研究した内容をさらに深め、その後、論文を手直ししてプレゼン用のポスターを作成します。そして、12月に東京都内SSH校発表会やマスフォーラム(数学生徒研究交流会)などで、全員がポスター発表を行うのでその練習もします。</p> <p>1月には数学ジュニアオリンピックの入賞を目指して頑張ります。(受講者全員ではなく、希望者が参加します。) ここ数年は、小石川の先輩もジュニア数学オリンピック、数学オリンピックともに予選通過をしています。また、本選で入賞をしている生徒もいます。</p> <p>3学期は、フィロⅢ校内発表会に向けて論文を完成させ、要旨(アブストラクト)と発表用のポスターまたはパワーポイントを作成します。</p>			
受講希望生徒へ(生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>数学が好きで楽しめる気持ちがあり、主体的に研究に取り組み、地道に努力できる生徒を希望します。</p>			
初回までに準備しておくこと(課題や持ち物など)			
<p>事前に研究したいテーマや内容をいくつか考え、それに関する書籍や生地などを持ってくる</p>			

番号	講座名	担当教員	人数
6	自然科学・探究活動の基礎		26人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>自然科学の探究活動のために必要な技能の習得を目標に進めます。具体的には、研究テーマの設定、仮説の立て方・適切な検証方法の選択、実験計画立案、統計処理(表計算ソフトの使用法含む)、発表の方法(プレゼンテーションソフトの使用法を含む)などについて、講義・演習・実習を行います。</p> <p>昨年度のテーマを次に示します。</p> <p>どのようなシャーペンの芯が書きやすいのか、ボールがよくとぶ角度は本当に45度なのか、輪ゴムの劣化はどのように進むのか、クリアファイルのカールについて、ポリアニリン二次電池をつくるのに最適な条件、視力が悪い時に見やすい文字と形に関係はあるのか、炎の大きさや温度と放出エネルギーにはどんな関係があるか</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<ul style="list-style-type: none"> 自分でテーマを設定して研究するので、科学への興味・関心が低い人、自分からの目的意識がない人には向いていません(受け身では研究ができない)。 研究内容によっては、器具や薬品などを購入してもらう必要があります。 費用負担があることを、保護者の方とともに了承してください。 発表会では、1年間学んだことを使い、既存のデータを元にプレゼンテーションを行います。 			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
小石川ノートを持ってきてください。図書館にある昨年度までの研究に目を通しておいください。			

番号	講座名	担当教員	人数
7	スポーツ		26人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>オリンピック・パラリンピックで実施される競技種目を中心に研究をします。</p> <p>各種目のテーマ設定、種目設定をリーダーが行い、ルール説明を行った上で実技練習に入っていきます。</p> <p>授業時数の1/3が実技に向けた調べ学習、1/3が実技、1/3が実技の振り返りとして考察を深める討議を行います。最終的には発表もあります。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>テーマ設定を主体的に進めていくことができ、リーダーとしても行動できる人が受講して下さい。</p> <p>地道に努力を積み重ねられる人が受講して下さい。</p> <p>定員を超えた場合は、希望理由をもとに選考する。</p>			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
<p>課題 取り組みたいスポーツを考え、テーマ設定をしてきてください。</p> <p>持ち物 筆記用具</p>			
費用 (見込み)			
なし			

番号	講座名	担当教員	人数
8	アメリカの音楽と社会背景		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>今日私たちが「洋楽」として親しんでいる音楽は、その多くがアメリカの歴史との密接な関わりの中で成長してきたものです。本講座では、アメリカの各年代の流行歌とその社会背景を分析しながら、その時代の人々が流行歌に求めたものを探ります。特に、現行のミュージックシーンに多大な影響を及ぼした黒人音楽とその歴史的背景、黒人としてのアイデンティティーがどのように変容し、何が課題として残されたのかといった観点にスポットを当てながら、人種差別や多文化共生社会の問題を考える素地を養います。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>講座受講にあたり、以下のことを求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週の読書(日本語)に耐えられること。また分からない用語等を家で自発的に調べること。 ・好き嫌いせず、様々な年代の音楽を聴いて自分の幅を広げようとする前向きな姿勢。 ・授業で扱った曲をすぐに自分で聴き、英語の歌詞も自分で進んでチェックすること。英語や英語圏の文化に対する興味、前向きな姿勢が必要です。 ・休み中に自宅で各自映画を見てもらう場合があります。 			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
<p>「はじめてのアメリカ音楽史」James M. Vardaman 里中哲彦 ちくま新書 (1,034円) 各自で事前に必ず購入し、毎時間持参すること。</p>			
費用 (見込み)			
上記テキスト代 (1,034円)			

番号	講座名	担当教員	人数
9	国際協力について考えてみよう		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>近年、グローバル化が進み、他国の問題は地球全体の問題として取り組む必要があり、政府・NGO・NPO等が行う国際協力活動が活発化し、またそこに興味を持ち活動する若者が増えている。地球目線で国際協力について考え、開発途上国の実態、何が必要とされているのか、何ができるのか等について、担当教員の経験を踏まえ、多角的に考察し研究する。ゲストトーク、フィールドワーク等実施予定。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>国際協力活動に興味関心を持ち、積極的に発言・参加する生徒を求めます。開発途上国、ボランティア活動に興味を持っている生徒、将来国際貢献活動に関わってみたい生徒。</p>			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
<p>筆記用具、自分の気になる国と抱えている問題について調べておく。</p>			
費用 (見込み)			
フィールドワークの場合、交通費がかかることがあります (都内)			